

## 地球をエコで包む「Ö-FUROSHIKI」展報告



10月8日(日)から10月15日(日)まで、京都の宮井(株)本社にて「Ö-FUROSHIKI」展を開催いたしました。一階にはTDAのコンセプトコーナーとして、「地球をエコで包む」をテーマにコンセプトの展示、そして賛助会員である帝人(株)、北川織物工場、京都府織物・機械金属振興センター、倉敷紡績(株)さんからペットボトル再生ポリエステル、バンブーやイグサ、沖縄の月桃などの天然素材などの環境素材の展示を行いました。二階はクリエートコーナーとしてTDA会員32名が出品し、作品として約100点近くの展示となりました。

京都室町という立地条件もあり、和装関係者、繊維関係者も多く来場いただきました。10月11日には織研新聞、12日には日本繊維新聞にも記事を掲載していただき、TDAの活動を知っていただく良い機会となりました。

TDAとして、エコロジー、ロハスに注目が集まっている今、環境・合理性にたけた究極のエコ製品である“ふろしき”を、昇華されたテキスタイルとして多様なかたちとして表現し、社会へ提示することは意義あることと考えます。

タイトルの「Ö」はエコロジー先進国のドイツの“Ökologisdher”（ドイツ語でエコロジーの意）の頭文字であり、大風呂敷を広げても取り組むべき課題と考え企画しています。

来年1月13日からの宮井(株)東京支社での東京展開催も決定しました。会員、賛助会員の皆様の奮っての参加を、お願いいたします。

日本のロハス精神を象徴する風呂敷をさまざまな角度から考察し、今日の視点でデザインの創作に取り組むことは、TDAの理念に共通するものと考えています。最後に、今回の会場の提供及び指導をしていただきました宮井(株)様に、お礼を申しあげたいと思います。どうもありがとうございました。

(大高 亨)